

委員会活動計画書

委員長名 鈴木 良美

【委員会名】 健康危機管理対策委員会	
【メンバー】 ◎鈴木 良美(東京医科大学)、○石田 千絵(日本赤十字看護大学)、山下留理子(徳島大学)、 井口 理(日本赤十字看護大学)、¥呉 珠響(東京医科大学)、 嶋津多恵子(国際医療福祉大学大学院)、佐藤太地(日本赤十字看護大学) 堀池諒(大阪医科薬科大学) *奥田 博子(国立保健医療科学院) 50音順、◎委員長、○副委員長、¥会計担当、*会員校以外の委員、()所属名	
【活動方針】 1. 健康危機管理(特に感染症と自然災害)に関する教育内容を検討し、視聴覚教材を作成する。 看護基礎教育検討会報告書(厚生労働省, 2019)にも、「大規模災害や感染症等の健康危機管理能力の強化の必要性」が指摘されており、演習を通じた実践能力の強化が求められている。そこで健康危機管理の演習に役立てられるよう、教育内容を検討し、視聴覚教材を作成する。 災害等(地震・津波・台風・その他)発生時に会員校に対し、迅速かつ適切な対応を図るため、情報収集、活動の調整と支援、情報発信等を行う。	
2022(令和4)年度	
達成目標	1. 感染症と自然災害に関する「健康危機管理に強い保健師に求められる卒業時の到達目標」をもとに、教育内容を検討し、視聴覚教材を作成できる。 2. 災害等発生時に、「災害発生時の支援指針」に則り、状況に応じた対応を行うことができる。
活動計画	1. 感染症と自然災害の「健康危機管理に強い保健師に求められる卒業時の到達目標(以下、到達目標)」をもとに、感染症の教育内容を検討し、視聴覚教材を作成する。 1) 2021年度に検討した到達目標をもとに感染症と自然の教育内容を検討する。 2) 2021年度に健康危機管理に関する視聴覚教材のデータ収集を行ったが、コロナ禍でデータ収集の一部が中断してしまったので、補足的にデータ収集を行う。 3) 視聴覚教材を作成する。 2. 災害等発生時に、「災害発生時の支援指針」に則り、状況に応じた対応を行う。